

# 国際交流サロン

11月は「ペンの発祥地探し」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

モノ/コト	ペン
発祥地	エジプトのナイル川河岸
いつごろ	紀元前2400年ごろ
誰がはじめたか	エジプト文明の書記官たち。エジプト文明では、王の治世の記録をパピルス（紙の語源）にナイル河岸に生えていた葦でペンを作って、インクを使って象形文字で書きました。葦ペンは先端を割り、インクの持ちを良くし、書き良くする工夫がされました。西暦79年にベスピオス火山の噴火で埋まったポンペイの遺跡からは、現存する世界最古の金属製ペンが発見されています。

## 外国人と笠間の民話を読み語る会のご案内

笠間市国際交流協会では、常陸風土記編集1300年を記念して、「笠間の地名のおこり」と、古くから語られている「笠間の民話」を英語で読み語る会を12月21日に開催します。

当時の生活の様子や服装などを民話の中から感じ取り、笠間の古い歴史を語る文化交流会です。どうぞご参加ください。

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 TEL090-2761-8711 (木村 美枝子)



コンゴ共和国のアンジエザさんを囲んで座談会

## 12月の国際交流情報

### 外国人と笠間の民話を読み語る会

12月21日(土)

午前10時～正午

会場：友部公民館

参加対象：小学生以上の外国人・日本人の方

### ☆12月の日本語教室の開講日

12月7日(土)・14日(土)

(友部公民館 午前10時～)

## 市長コラム

### 筑波海軍航空隊

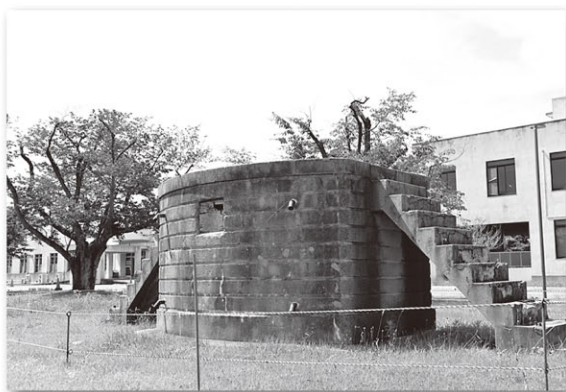
筑波海軍航空隊をご存知でしょうか。

昭和9年から終戦になるまでの約10年にわたり、旭町(旧友部町)の茨城県立こころの医療センターに筑波海軍航空隊がありました。開隊時は霞ヶ浦海軍航空隊の友部分遣隊であったようです。当時の司令部庁舎は旧友部病院として最後まで使われており、前庭には号令台が残っています。この基地からは、73名の隊員が特攻隊員として、戦火の空に飛び立っていきました。

現在は、当時の隊員の方々を偲ぶ慰霊祭を筑波海軍航空隊友の会が主催し、毎年6月に元隊員の方々を含め遺族や、多くの関係者の方々が参加しています。

この度、12月に上映される百田尚樹原作の映画「永遠の0」が、この基地跡地を中心に撮影されました。また、当時の隊員であり、彫刻家として世界的に活躍されている流政之さんより、ご自分の作品を寄贈いただき、号令台の前に設置することになり、11月23日に、除幕式が行われる予定であります。作品は、「かえり雲」という題名で、筑波海軍航空隊への想いを表現した作品ですので、お立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。

私たちは笠間史の歩みとして、多くの若者が飛び立った筑波海軍航空隊の歴史をしっかりと後世に伝えていくことが大切であります。現在も、茨城県立こころの医療センターには、司令部庁舎や号令台のほかに、筑波海軍航空隊員の遺品等を展示しています。



▲ 訓練用の号令台

笠間市長  
山口伸樹